

高校におけるキャリア意識形成

—現代の青年期教育を問い直す—

巻頭—高校教育論・再考—教育現実を踏まえ、青年期教育を展望して—

特集 1：高校生のキャリア意識形成

第 1 部 総合学科におけるキャリア意識形成

- 第 1 章 総合学科の現状とその果たしてきた役割
- 第 2 章 総合学科の設置系列の変化と現状
- 第 3 章 総合学科が育てる「キャリア意識」とは
—総合学科 B 高校の調査から—

第 2 部 普通科におけるキャリア意識形成—F 高校を事例に—

- 第 1 章 F 高校の概要
—F 高校を調査対象として選んだ理由と調査の概要—
- 第 2 章 普通科高校における「キャリア意識」はいかに形成されるか
- 第 3 章 進路希望の性差はいつごろに現れるのか

特集 2：青年期教育の 50 年—大串隆吉氏と太田政男氏に聞く—

大学時代の教育に関連した経験—結核療養所・セツルメント・青年学級—／学生時代に影響を受けた書籍—宮原誠一『青年期の教育』—／初期の研究テーマ—青年の学習要求・自己形成／教科研・青年期教育部会での関心と活動／共著「青年期教育論の再検討」(1980)の問題意識／共通教養についてどのように考えるか／労働過程の不透明化と高校普通科における教育の模索／教育運動の展開と分裂・教育運動と研究との関連性／現在なお引き継がれる青年期教育の課題とは／

中等教育研究委員会のこれまでの活動と年報発行のねらい
—むすびにかえて—

- 投稿論文
- 1 性をめぐる中学生の実態と性教育をめぐる教師の動機
—質的調査からの研究ノート—
 - 2 「高校生」の私的ネットワークの可能性と「自分らしさ」